

活・動・報・告

自然は
ともだち

私たち「富士自然観察の会」では、「富士山草笛の会」など、自然保護団体と協力して富士市の「こどもエコクラブ」を支援してきました。

特に、帰化植物の調査やゲンジボタルの飼育方法、そして楽しい自然遊びを支援する中で多くの子供たちがますます自然大好きになってくれました。

7月からは、身近な樹木に焦点を当てて「葉っぱ」を使った草笛教室、「小枝」を使った自然教室を開きました。そして、樹木は遊びだけでなく私たちにとってかかえがえのない空気をきれいにしてくれる働きをすることを勉強してきました。ここでは、原田湧水クラブへの支援活動について述べます。

●自然工作教室

クズの木質の葉癭で人形を作りました



●草笛教室

みんなで草笛の吹き方を教わりました



●「こども葉っぱ判定士」に挑戦しました



●内容

原田小の樹木約500本の二酸化炭素吸収量（年間）を調べる。

●方法

「樹木の種類」と「高さ・幹の周りの長さ」を手分けして調べ、その結果を表1（幹の太さと葉の面積の関係）表2（葉の1㎡が一年に吸収するCO₂）を使って次の結果を出しました。

●結果

- ・原田小の校庭の全樹木が吸収する年間CO₂量は、95,229kgである。
- ・この95,229kgのCO₂の量は、原田小の児童265人分の一年間に吐き出すCO₂量と等しい。（一人が年間吐き出す量は、360kg）
- ・国民一人が生産活動などすべての活動で吐き出すCO₂量が、9,670kgなので、そのことから原田小の校庭の樹木では、たった10人分しかまかなえない。

●感想

- ・はじめて木がCO₂を吸うことを知ってよかった。でも学校の木でも10人分しかならないなんて心配です。（5年生女子）
- ・子供たちと一緒にCO₂を樹木が吸収する調査をして大変勉強になりました。このようなことは、テレビなどで放映して、皆さんに知ってもらわねば。（5年生母親）

●今後の活動

- ・今回参加した子供たちはもとより、参加できなかった子供たちにも、調査の方法を教えて各家庭の樹木がどれだけCO₂を年間吸収するかを調べる
 - ・近くの公園や丸火自然公園の樹木調査（CO₂年間吸収量）を行う。
 - ・CO₂の吸収量の多いケナフの栽培についてみんなで考える。
- 以上のことが活動終了後に話し合われました。

みんなの
掲示板

ホールアース自然学校

富士山本校をはじめ自然界を拠点に全国的に活動している「自然体験型の環境教育事業所」です。実体験主義・自然観の回復をテーマに様々な自然体験プログラム・指導者研修などの企画・コーディネート・実施を行っています。お気軽にお問い合わせください。

●エコプログラム●

エコツアー
子どもキャンプ
田舎の学校
「自」酒をつくろう！
アウトドア入門 など

■住所：静岡県富士郡芝川町下柚野165
■TEL：0544-66-0152
■http://www.wens.gr.jp



東京電力 沼津支店

私たち東京電力は、「環境の創造」を経営ビジョンの中に掲げ、豊かな地球環境を創るための様々な活動を展開しております。

今回は、富士山の美しい自然を大切に守るために、私たち沼津支店の一人ひとりがボランティアで取り組んだ活動を紹介します。

昨年から、富士山麓にブナ林を創造するための活動に参加し、約130名が植林作業を体験し、今年の夏には約40名が下刈作業に汗を流しました。

今後は、静岡県のご協力を仰ぎ、国有林の一部を私たちが一貫して整備をさせていただき構想なども検討しています。

■住所：静岡県沼津市大手町3-7-25
■TEL：055-936-1211（代）
■http://www.tepco.co.jp